

2020年度 後期始業式

聖書 コリントの信徒への手紙 II 4章18節（新約聖書330頁）

わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。

コンパニオン・プランツ

猛暑の夏休みでした。残暑は厳しいですが、蝉の鳴き声も聞こえなくなり季節は変わりつつあります。今年は長雨と猛暑で農作物も大変な被害でした。ご家庭でも野菜の高騰が話題になったのではないですか。

一方、新型コロナウイルスの影響でステイホームする人たちの間で家庭菜園がブームだそうです。草花や野菜も品種改良が進み、とても育てやすく品種も豊富です。しかしそのため人工的に遺伝子組み換えもされています。人間の都合で生態系が崩されています。

シンガー・ソングライターのあいみよんの歌にもありますが、マリーゴールドという品種の花をご存じですか。オレンジと金色の混ざったようなかわいい花ですが、実はかわいいだけではありません。冬の大根、白菜などの葉虫が付きやすい野菜を害虫から守る防除効果があるのです。ですから畑の畝の間や周りにマリーゴールドを植えたりします。ある品種が全く違う品種を守る植物のことを“コンパニオン・プランツ”と言います。

実は、わたしたちが恐れているウイルスも生物の多様性と種の保存のために重要な役割をしていると言われていています。それぞれの生物が持つ特性が交わり互いの種を保存しているという考えです。ウイルスは恐ろしいものであると同時に、互いが助け合って共に生き伸びていくためにも必要な存在だという考えです。

人間は自分たちに都合の良いように、自分たちだけが生き延びて幸せに生きられると考えるならば自らを滅ぼすことになります。植物も動物も人間も互いの領域を侵せば恐ろしい存在ですが、多種多様な存在の違いがふ

れあって、互いを支え成長するのです。

後期は体育祭、文化祭、クリスマスなど英和生皆さんが協力して作り上げていく行事が続きます。誰もがコンパニオン・プランツとして、適度な距離を取りながらふれあい、共に成長して花を咲かせ実をつけましょう。

しばらく黙祷しましょう。

祈禱 祈りましょう

わたしたちを愛し、わたしたちを励まされる主よ。

あなたは、英和生たちが互いにふれあい、共に成長する喜びを与えて下さっています。どうか後期の学びでも、人や自然の営みを見つめ学び、私たちに目に見えないものの尊さと感謝をお与え下さい。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン